

平成13年度 文学部 授業計画表 [syllabus]

地3選

| 科目名 (英文名) | 生物地理学 Biogeography | 4単位 | (ふりがな) 担当者 | いそ 機 | がい 谷 | たつ 達 | ひろ 宏 |
|--|--------------------------------------|------|----------------------------------|---------|---------|---------|---------|
| 授業のねらいと概要： 生物地理学は、地理学と生物学(生態学、分類学、進化学など)とにまたがるきわめて広範な領域である。この授業では、生物地理学の中でも陸上植物の集団に関する分野(植生地理学)を中心に取り扱う。具体的には植生の諸概念とさまざまな調査法・スケール論、主要な植生類型とその分布・構造・動態・成因・歴史などについて概説することにより植物集団を地理学的・生態学的に把握する力を養うことをおもな目的とする。また、動物の生態地理や自然保護・緑地計画についても言及する。必要な関連分野(植物学、生態学など)についての知識は適宜、説明していく。前期・後期とも試験を行うほか、野外での観察結果を記したレポートの提出も求める。 | | | | | | | |
| 教科書と参考図書： 特定の教科書は用いない。参考書はその都度指定する。 | | | | | | | |
| 評価法： 前期試験(有り)：35%，後期試験(有り)：35%，レポート(有り)：20%のほか、出席：10%も含めて総合的に評価する。 | | | | | | | |
| 【授業計画】 | | | | | | | |
| 回数 | 授業内容とそれに必要な準備 | 回数 | 授業内容とそれに必要な準備 | | | | |
| 第1回 | はじめに —生物地理学の世界— | 第16回 | 日本の動物地理(その2) —鳥類と昆虫類— | | | | |
| 第2回 | 高等植物の分類・地理と植物区系の概要 | 第17回 | 日本の草原(その1) —草原の分布と生態の概要— | | | | |
| 第3回 | 植生に関する諸概念 | 第18回 | 日本の草原(その2) —海岸と都市の草原— | | | | |
| 第4回 | 植生の調査・研究方法 —植生の研究方法を中心に行なう— | 第19回 | 植生動態と植生地理 | | | | |
| 第5回 | 世界の植生帯 —特に熱帯雨林域の植生について— | 第20回 | 関東地方の植生地理(その1) —植生史・原植生・自然植生— | | | | |
| 第6回 | 日本の植生帯 | 第21回 | 関東地方の植生地理(その2) —現存植生— | | | | |
| 第7回 | 日本の常緑広葉樹林帯(その1) 植生帯の下位区分、暖温帯北部の植生 | 第22回 | 自然保護と生物地理学 | | | | |
| 第8回 | 日本の常緑広葉樹林帯(その2) 暖温帯南部と亜熱帯の植生 | 第23回 | 緑地計画と生物地理学 | | | | |
| 第9回 | 日本の夏緑広葉樹林帯 | 第24回 | 緑地計画コンクール | | | | |
| 第10回 | 日本の針葉樹林帯 | 第25回 | 水域の生物地理 | | | | |
| 第11回 | 日本のハイマツ帯と高山帯 | 第26回 | まとめ —生物地理学の世界— | | | | |
| 第12回 | 植生地理学の視点と研究方法 —植生の分布・成因と空間スケール— | 第27回 | 後期試験 | | | | |
| 第13回 | 前期試験 | | | | | | |
| 第14回 | 前期試験の答案返却と解説、後期授業の展望 | | | | | | |
| 第15回 | 日本の動物地理(その1) —動物地理の概要と哺乳類— | | | | | | |